

発行所  
新潟市北山1037番地  
新潟明訓高等学校同窓会  
会長 渡辺 惇 夫

- 一 母校愛精神の昂揚
  - 二 伝統保持と敬愛
  - 三 会員の連繋と相互扶助
- 綱 領

### ご挨拶 — 歴史と伝統を誇る 母校の同窓会として —



同窓会長  
渡辺 惇 夫

秋晴れの清々しい心地良い季節となりました。同窓会員の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。  
平素は同窓会の諸活動並びに母校の発展向上のために暖かいご理解とご協力をいただき衷心より感謝を申し上げます。お陰様で我が同窓会も多数の会員を擁し、年々活動実績を積み、その存在感を増しつつあり、母校の発展とともに内外に高い評価を得られるに至りましたことは我々の大きな喜びであり誇りでもあります。このことは偏に会員皆様の変わらぬ母校愛と日頃の精進とご努力の賜物であると

ともに、加えて学校ご当局をはじめ関係者の皆様のご支援助とご協力があったることであり、ここに改めて心からお礼を申し上げます。これからも我々は母校の建学の精神を大切に継承し、同窓会員としての誇りを持ちながら引き続き同窓会発展のため努力邁進していかねばなりません。  
さて、ご承知のように我が母校は大正十年の創立以来、実に八十有余年の歴史を刻み、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねて参りました。そして昨年は母校にとって八十周年記念事業の一環として世紀の大事業とも言える校舎ほか全施設が新潟市北山

の地に全面的に移転し、新しい時代—21世紀に於ける新生新潟明訓高校として大きな第一歩を踏み出すことが出来ました。  
我が同窓会に於きましても、この母校の発展に相応しい体質と拡充強化が強く求められておりますとともに、同窓会員のこのことに向けた意識改革もまた必要であると思えます。幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材も多く、広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しておられます。この多くの皆様から母校の現状を充分にご理解いただき、大きな関心を持っていただくことにより同志的意識を高め、協力体制を確立することができ、それが同窓会の活性化に繋がっていくものと思えます。このことが母校の発展に寄与するものと確信いたします。先般も常任委員会の席上、同窓会が発展するにはその中心的な存在である同委員会の拡充強化を図ることが必須条件であることを確認させていただき、そ

のことに向け今後も最大限の努力をしていく決意をさせていただきます。心からご協力をお願い申し上げます。  
我々は限りある人生でありますが、明訓同窓会と母校新潟明訓高校の存在は永遠であります。その母校に一時代とは

のことに向け今後も最大限の努力をしていく決意をさせていただきます。心からご協力をお願い申し上げます。  
我々は限りある人生でありますが、明訓同窓会と母校新潟明訓高校の存在は永遠であります。その母校に一時代とは

### 日日は好日



理事長  
伴 昭彦

同窓会員の皆様にはお変わりもなく御元氣でお過ごしのこととお喜び申し上げます。  
今の世の中は毎日が落着かない大変な世の中になってしまいました。こんな毎日をどうやって過したらいいのでしょうか。昭和三十六年頃、NHKの放送の中で中山厚生大臣のお言葉として「きょう一日腹を立てない、きょう一日心配しない」ということがあり

ました。腹を立てないのは兎も角、心配をしない、ということはどういうことでしょうか。  
人生は毎日が新しい展開であり何が起るか分からないのであって、程度の差はあっても心配ごとが生ずるのは当たり前ではないでしょうか。心配ごとが起ったときに、これから逃げようとしても当然のことながら決して解決は

しません。いかなる心配も、よし、心配してやろう、待っていたと心配を正受して心配の中に没入することが大切でしょう。禅ではこれを「三昧」(サンマイ)と言っております。当面した問題がいかに苦しいものに思われても、そこから逃げようとせずに全身全霊を打ち込めば心配は心配でなくなるのに、それから逃げようとする心が自分を苦しめることとなります。  
昔、中国の禅僧の雲門大師は「日日は好日」と言われました。長い人生には晴天ばかり続く訳ではなく、雨や嵐の日もあり、これを心配するのが私達です。しかし、その心配から逃避するのではなく、その心配を歓迎し正受してゆく豊かな心こそ日日は好日の心境でなかるうか、と言われたのは、仏通寺管長藤井虎山師です。同師は、心配は永遠に続く、どうせのがれることのできない心配なら、これを正受してこれに取組む、これに没入すれば心配が心配でなくなる有名な「心頭を滅却すれば火もまた涼し」の快川国師の心境もうかがえるのではないかと、とも述べておられます。  
毎日を心配ごとで思いわずらうのでなく、これを正面から受けとめて冷静に対処してゆくことが肝要なのではないでしょうか。

お話しが少し変わりますが、橋本徹馬氏は次のように述べておられます。

「人生は樂觀すべきものであるというのが、昔からの聖者や偉人といわれる人達の到達した悟りです。(中略)だから人生は楽しいのが本当であり、どんなに行詰った時でも落ちついておれば、必ずどうにかなるのが人生です。」

### 戻れるなら、高校時代に



学校長 宮沢 稔

昨年は、本校創立八十周年・新校舎竣工記念の諸事業に際し、同窓会から格段のご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。生徒は今、新しい校舎・グラウンドで勉学にスポーツにのびのびと打ち込んでおります。

今年はまだ、本校野球部の六年ぶりの甲子園出場に際しまして、同窓の皆様方から文字通り物心両面から支えていただきました。改めて心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

ところで、「子どものころや若いころに戻れるとしたら

いくらでも楽しめます。私達を毎日日照らしつつ万物を育ててくれる太陽、また時々降りる雨。それから毎日私たちの呼吸している空気。毎日飲んでいる水。これらは皆私達が何の努力もせず、また何の頼みもしないのに、無報酬で且つ無限に私達を生かす努力を続けてくれてあります。これらの大きな作用から、人生万事につけてよく考えて見ると、

どの時期に戻りたいか」と、ある生命保険会社が東京と大阪のビジネスマンとOLに質問したそうです。結果は、高校時代がトップで三十二・九パーセント、二位が中学校時代の二十一・六パーセント、以下、三位大学時代、四位小学校時代、五位幼稚園時代と続いたそうです。

私達は造物主の大きな愛の中に抱かれていることが分つて、大安心、大樂觀に徹します。」というのです。

この文章を読みますと、何も心配することもなさそうです。ゆつたりとすごそうではありませんか。

来ましよう。

今回の甲子園出場という快挙も、生徒諸君の心に大きく響いたことでしょう。県内はもとより、全国からも注目され、学校全体が大きく盛り上がりました。もちろん、野球部員の諸君にとつては生涯忘れられない思い出となったでしょうが、部員以外の多くの生徒にとつても、全校応援をした県大会優勝戦での劇的な勝利のことや、猛暑の中、バス二十数台を連ねて直接甲子園に応援に行ったことなどは、同じように忘れられない思い出となることでしょう。

学校の近況をもう少し紹介しますと、陸上競技部の諸君の活躍、中でも、高校生のオリンピックピックといわれる世界ユース大会に二名も出場するという快挙もありました。さらには、剣道部女子のインターハイ出場、放送部、写真部、囲碁部の全国大会出場などもありました。

学習面でも、新校舎の冷房

### 平成16年度

## 第17回首都圏新潟明訓会 総会・懇親パーティー開催

秋晴れに恵まれた平成16年11月20日(土) 13時より「銀座日航ホテル スカイルーム」に於いて、平成16年度、第17回首都圏新潟明訓会総会と懇親パーティーが75名という多くの出席者の中、盛大に開催されました。

当日は本部より渡辺会長、児嶋副会長(首都圏新潟明訓

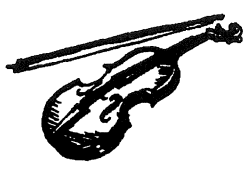
会担当、山崎副会長、学校側より伴理事長、宮沢校長は学校行事のため欠席でしたが、瀬下副校長が出席されました。

まず、後藤強首都圏会長より10月22日の本部同窓会総会並びに23日の創立80周年校舎移転新築竣工記念式典に首都圏からも多くの参加者があったこと、素晴らしい新校舎であったこと、同日発生した中越地震に対するお見舞いなどのご挨拶がありました。引き続き役員の変更があり、新会長の秋葉正樹氏をはじめとした新役員の方々が満場一致で承認されました。新役員を代表して秋葉新会長から、新しい役員の方々と共にますます活発な活動を進めていきたいと決意表明があった後、前会長となられた後藤強氏へ感謝の気持ちを表明されました。

新潟より持参の「越の寒梅」も振舞われる中、同窓として分け隔てなく懇親を深めていかれているアットホームな雰囲気的印象的でした。アトラクションとしてジャズシンガー熊倉(牟田)由美さんの素晴らしい歌声や呼出し三郎の荒俣武雄氏による相撲甚句が披露されるなど、大いに盛り上がりおりました。

宴も終盤に差し掛かり恒例の福引が始まるとステージに視線が集中し、皆さん番号が呼ばれるたびに一喜一憂されておりました。その後、校歌斉唱、中々となり、最後に本部よりの多大なる援助への感謝の言葉をいただき、名残惜しさの尽きぬ中、閉会となりました。

(山崎記)



今後とも、同窓の皆様方の母校への、後輩へのあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。ごあいさつに代えさせていただきます。

引き続き懇親パーティーに移り、渡辺本部同窓会会長より本部総会へ多数のご臨席を賜

会員紹介

「母校創立80周年記念・祝典序曲」の作曲者



清水 研作氏

昭和54年(全日第30回)卒  
新潟大学教育人間科学部教授

清水氏は昨年、平成16年10月23日に開催されました母校創立80周年記念・祝典序曲を作曲され、その曲が式典当日、清水氏自ら指揮をされ、母校吹奏楽部の演奏により披露されました。

。後輩たちが純粋な魂を持ち続けて明くる未来に羽ばたいて欲しいという願い

から生まれた。私の大好きだった明訓は音楽という素晴らしい芸術の存在を気づかせ、礎となる幅広い知識を学内で専門的に学ぶ機会を与えてくれた。その自由な校風が、学業ではもちろんのこと、特異な分野で今日活躍している我ら同窓生を輩出したと確信する。冒頭に聴こえるファンファーレは、「新たな学舎に栄光あれ」と高らかに宣言する祝いの号砲である。」

今後とも健康に留意され、益々のご活躍をお祈りいたします。
清水研作氏の略歴
昭和54年新潟明訓高等学校卒業後、米国立ブロンクス大学音楽院を卒業。その後、ハーバード大学大学院博士課程作曲科に特待生として入学、博士号(Ph.D.)を取得。数々の作曲賞を受賞したほか、一九九〇年にはビエニエニアフスキ国際作曲コンクールで優勝。作品は広く演奏され、(財)数理科学振興会(理事長・広中平祐氏)を始め、ボストン交響楽団元主席フルート奏者ドリオ・ドワイヤー女士など多くの委嘱作品を手がける。一九九二年には東京で作品展を催し、好評を博す。同年「What's music? Vol.39」にて世界的なフルート奏者ジャック・ゾーン氏が新曲「異なる時空II」を初演し、音楽之友社より出版。一九九四年フランス国立音響・音楽の探求と調整の研究所に招聘されコンピュータ音楽の研鑽を積み、コンピュータを用いた新たな表現方法を追求している。二〇〇四年「音空間創造プロジェクト」を立ち上げ、初のコンサート「phenon」が今年(二〇〇五年)11月18日(日)とびあ能楽堂で行われる。現在、新潟大学教育人間科学部教授。

寄付金の顕彰揭示について

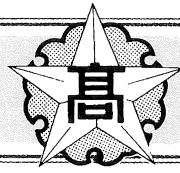
学校法人 新潟明訓高等学校 校舎移転新築事業募金高額寄付者

Table listing donors and amounts for the school building renovation fund. Includes names like 加藤 裕巳, 北川 宗彦, 木村 至孝, etc.

平成十七年八月三十一日

母校校舎移転から1年が経過し、募金期間も17年8月末日で終了致しました。同窓生の皆様方から多額の寄付金を賜り誠にありがとうございました。つきましては、法人等企業五十万円以上、個人十万円以上御寄附頂きました方々のご芳名を明記し、校舎管理棟1階事務室前に顕彰させていただきます。御紹介申し上げます。

# 学 校 高 案 内



## 今年 の 合 格 状 況

### 国公立大110名 (含む既卒生)

国公立大学	合格者数	私立大学	合格者数	私立大学	合格者数
北海道	1	北海道医療	1	明治	15
北海道教育	1	東北学院	6	明治学院	12
秋田	1	獨協	12	立教	3
山形	6	文協	14	立正	2
福島	1	青山学院	5	早稲田	9
筑波	4	亜細亜	2	神奈川	20
埼玉	1	学習院	5	関東学院	5
東京	1	北里	7	敬和学園	1
東京医歯	1	杏林	1	新潟国際情報	11
東京学芸	2	国立音楽	1	新潟薬科	36
東京外国	2	慶應義	2	新潟青陵	12
横浜	2	工學院	2	新潟医療福祉	11
新潟	55	國學院	7	金沢工業	5
上越	6	駒浦工	14	北陸	7
富山	3	芝浦工	6	中京	7
富山医科薬	1	上野和女	2	同志	1
金沢	2	昭和	12	立命	9
信州	1	成成	7	関西	2
名古屋	1	成専	6	関西外語	1
奈良女	1	専大	22	近畿	3
高崎	1	東文	17	その他	107
横浜	3	拓殖	6	私立大学合計	606
新潟	2	玉川	2	国公立短期大学	23
京都	3	中央	21	埼玉大短大部	1
都立	1	塾京	1	神奈川県外語短	1
九州	1	帝東	4	県立新潟女子短	17
その他	6	東海	14	山梨県看護短	1
国公立大学計	110	東京	6	その他	3
		東京女	6	国公立短期大学計	23
		東京農	1	私立短期大学	24
		東京電	4	青山学院女子短	2
		東京理	11	大妻女子短大部	3
		東京邦	3	昭和女子短	1
		東洋舎	13	共立女子短	1
		日本女	1	東京家政短	1
		日政	43	新潟青陵女子短	5
		法蔵	12	日本歯大新潟短	2
		武蔵	18	その他	9
		工業	6	私立短期大学計	24
			4		

**新潟大42名合格 (現役のみ) と健闘！**  
**新潟大および愛媛大医学部医学科**  
**現役合格！**  
**難関国立大では北海道・筑波・**  
**東京外国語・名古屋・横国も**  
**私大でも早稲田大5名、明治大9名と**  
**健闘！！**

平成17年度入試につきま  
して、大学入試センター試  
験から振り返ってみたいと  
思います。今年の志願者数  
は五六九、九五〇人で、昨  
年に比べ一七、四〇〇人  
(30%)減少し、過去最高と  
なった一昨年から2年連続  
の減少となりました。また  
国公立大全体の募集人員に  
対する志願倍率も5.3倍から  
5.0倍に低下。センター試験  
導入以降で最も低かった5.1  
倍(一九九九年)を更に  
下回り過去最低となりました。  
平均点の変化につきま  
しては、業者推定の5(6)  
教科7科目型受験生の平均  
点(九〇〇点満点)は、文  
系は五六一点で昨年と変  
わっていませんが、理系は  
五七四点から五八五点と十

一点の上昇となりました。文  
系の受験者が多い生物I・B・  
日本史Bのパターンで受験し  
た場合と、理系の受験者が多  
い化学I・B・地理Bで受験し  
た場合で平均点の合計を比較  
すると、二十五点もの差が開  
き、理科、歴史公民の選択科  
目が大きく明暗を分ける形と  
なりました。また、国公立大  
学のセンター試験科目の7科  
目化(以下「7科目化」)は、  
更に拡大し、7科目以上必要  
な国立大の募集人員の割合は  
昨年の74.3%から82.2%となりま  
した。一方、受験教科・科目  
別人数を見ると、7科目以上  
の受験者は昨年の57.9%から  
58.3%へと更に増え、引き続き  
高い割合を示しており、7科  
目以上の受験パターンがかな  
り定着したものと考えられま

す。特筆すべき点としては、  
ほとんどの科目が受験者数を  
減らしている中、理科①の総  
合理科の受験者は昨年に続き  
大きく増加いたしました。今  
年も理科②の化学や理科③の  
生物までの待ち時間対策や、  
理科の保険として多くの生徒  
が受験したのと思われるま  
す。また、7科目以上の受験  
生が増える一方で、3教科以  
下の受験生の占有率も文系・  
理系ともに伸びています。こ  
れは国公立大の7科目化を嫌  
って、少ない教科数で受験で  
きる私立大・短大を志望する  
受験生が増えているためと見  
られ、特に文系受験生を中心  
に受験パターンの2極化が進  
んでいるといえるでしょう。

さて、このような状況の中、  
本校の新卒生(≡現役生)は  
よく健闘し、新潟大学に42名、  
国公立大には73名が合格しま  
した。難関国公立大では、6  
年ぶりに国公立大の医学部医  
学科に2名の生徒が現役合格  
を果たし、旧帝大では北海道  
大学工学部と名古屋大学法学  
部にそれぞれ1名ずつが合格  
いたしました。旧帝大以外で  
は、東京外国語大外国語学部  
(英語)・横浜国立大学教育  
学部にもそれぞれ1名ずつが  
合格しております。私立大で  
も、慶応義塾大に1名、早稲  
田大に5名、明治大学に9名  
の現役生が見事に合格を果た  
しております。

新課程入試初年度となる二  
〇〇六年度入試につきまして  
は、センター試験に導入され  
る英語リスニングテストに関  
して、国公立大では約9割が  
成績利用を留意しています。  
このほか医学科での理科3科  
目(物・化・生)を課す大学  
の登場、国立大での前期日程  
への一本化の流れ、東京大で  
のセンター試験7科目化など  
の変更点が挙げられます。受  
験生の負担が増える内容が多  
いといえますが、少子化の影  
響を大きく受けた今春入試の  
志願状況を鑑みれば、国公立  
大が広き門へ向かうことは間  
違ひありません。受験生の諸  
君には安易な教科絞込みとい  
った妥協をせずに、本校の伝  
統である「好学」の精神で最  
後まで粘り強く学習を継続す  
ることを訴えたいと思います。



# 平成十七年度 明訓祭

## 『愛♡明訓博く未来へ伝えたい想い』

北山の新校舎へ移転して初の明訓祭が、六月十一日に行われました。実施時期については様々な意見が出たり、また、広いグラウンドがあるので、体育祭を行いたいという意見がありました。結局、初の体育祭を行うには時間が無すぎるといふことで、文化祭をこの時期に実施しました。

新しくきれいな校舎をできるだけ汚さないように、今までとは違った方法で準備をしていくことがまず要求され、その為に、新しいいきまりなどの作成が大変でした。全体の準備日程もかなりきつくと、生徒会本部役員だけでなく、クラス・部も大変苦労しましたが、しかし、明訓生の良き伝統が受け継がれている為か、ここぞという時に素晴らしい集中力を発揮してくれたお陰で、何とか盛大に行うことができました。

入ったことがある程の実力を待つ、三年生の佐藤智大君によるマジックショーで華やかなスタートを切りました。

ステージでは次に、一年生の音楽選択者による合唱コンクール、クラス表現のステージ部門の発表が行われ、三年生四クラスの熱のこもった踊りやパフォーマンスに、下級生は圧倒されていました。リバイススクエアは、今年も体育館で実施し、どのグループもプロ顔負けの歌や踊りなどで大いに盛り上がりました。

明訓の集いでは、演劇、合唱、ダンス、吹奏楽部による発表が行われました。写真、書道、美術、放送部などの文化部の発表も、それぞれ素晴らしい作品を発表しました。

文化祭の華の一つである垂れ幕は、中庭から見える、教室のペランダ部分に、今までは大きさを覚えて飾りま

した。見映えはどうかと心配しましたが、どのクラスも出来が非常に良く、なかなか評判も良かったようです。

クラス表現では、どのクラ

スも創意工夫と努力を重ねた素晴らしい作品が発表されました。ただ、教室展示では、制作上の制約が今までは違つてかなり多かったので、なかなか苦労していたよう

です。その力作揃いの中、明訓大賞を受賞したのは3年10組「モンモス」(門)：限られた時間の中で、細かい設計から制作までクラス全体が協力し、マンモスが再現されました。以下、各部門賞を紹介し

ます。  
☆教室創作部門 2年9組「Sea Fantasy」

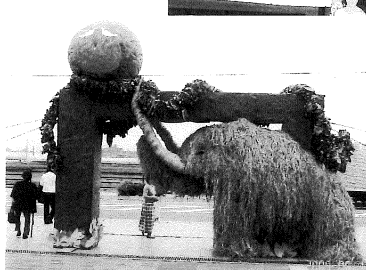
☆研究展示部門 1年7組「ドキュメント・新潟刑務所」  
☆教室演劇部門 2年4組「革命生活100ラブスト

1組「NOT HURT FOR OUT HATE」

最後にありますが、今年もご多忙中、多くの方々にお越しいただき誠にありがとうございました。新校舎での初の



「垂れ幕」全クラス作品



「明訓大賞」受賞作品  
3年10組「モンモス」(門)

文化祭ということ、至らない点もあったかと思えますが、様々な反省を踏まえ、新たな明訓祭の在り方や内容を

検討し、より良いものにしていきたいと考えております。今後とも、ご声援をお願いいたします。

## 修学旅行 学びの旅

今年の修学旅行は9月6日から3泊4日の日程で実施されました。広島→京都と見学した4日間の行程は次の通りです。

- 第一日、新潟→広島
- 第二日、広島→京都
- 第三日、京都
- 第四日、京都→新潟

初日は、台風14号が中国地方・九州北部に接近している中で広島に向かいました。その日の広島行きの新幹線が直後に全面運休になるといふ、ギリギリの中、間一髪で広島に到着することができました。

60年前の原爆の爪痕を今に残しながら、人口百万の大都市に生まれ変わった広島は暴風雨に曝されていました。残念ながら、台風の影響で、広島記念公園では原爆ドームの前を歩くことはできず、バスの中からの見学となりました。しかし、広島平和記念資料館で実際に見た各種の展示物は、生徒たちに大きな衝撃

を与えました。台風のため、予定を変更してホテル内で行われた講演会では、60年前、実際に被爆された方が平和講演をしてくださりました。被爆者の「苦しみ・悲しみ・平和への祈り」を、感受性豊かな生徒達は、素直な心で全身で受け止め、熱心に聴き入っていました。

2日目は、各クラスでコースを選択し、京都へ向かいました。選択コースは次の通りです。

- ①鳴門・明石海峡コース
- ②宮島・広島市内コース
- ③宮島・姫路城コース
- ④尾道・倉敷コース

また、前日の台風の影響が残っており、若干の変更を余儀なくさせられました。なおおむね順調に予定を消化することができました。

世界遺産に指定され、日本三景の一つにも数えられている宮島の厳島神社では、例年引き潮のため、地面にそそり立つ鳥居しか見ることはでき



なかつたのですが、台風のおかげ?で、海に浮かぶ美しい鳥居を堪能することができました。

紙面の都合で省略しますが、他の広島市内・尾道・倉敷・姫路城・鳴門・明石海峡コースも、十分に満足のいくコースであったことを一言紹介しておきます。

3日目は、京都市内の班別自主研修日でした。班別行動で人気があったのは、金閣

しんで最後の半日を過ごしました。コースは次の通りです。

① 霊山観音・清水寺・東寺  
 ② 京扇子絵付け・東寺  
 ③ 生八橋づくり・広隆寺

生徒にとっては貴重な体験をすることのできた、実りある四日間であったと確信しています。この貴重な体験を是非これからの人生に役立ててもらいたいものです。

寺・銀閣寺・竜安寺・嵯峨野地区等でしたが、ほかにも太秦の映画村を見学したり、祇園で舞妓体験をしたりと、さまざまな形で古都を満喫しました。

4日目は、半日クラス別行動で、思い思いのコースを選択し、さまざまなた体験や見学を楽

# 部活動報告

— 各科目覚ましい活躍 —

## 【運動部】

### ◎陸上部

《第34回柏崎陸上競技選手権大会 4/23、24 柏崎市陸上競技場》

#### 一般男子

- 男子 200M 第1位 黒川 哲雄
- 男子 400M 第2位 中村 俊幸

#### 男子 800M

- 第1位 加藤 雅俊
- 第2位 中野 涼司
- 第3位 中野 涼司

#### 男子 1500M

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

#### 男子 4x100M

- リレー 第1位 (二宮・早川・玉木・佐藤)
- 第2位 早川明日香
- 第3位 早川明日香

#### 女子 100M

- 第1位 山本あゆみ
- 第2位 山本あゆみ
- 第3位 山本あゆみ

#### 女子 200M

- 第1位 早川明日香
- 第2位 早川明日香
- 第3位 早川明日香

#### 女子 400M

- 第1位 山本あゆみ
- 第2位 山本あゆみ
- 第3位 山本あゆみ

- 第1位 加藤 雅俊
- 第2位 中野 涼司
- 第3位 中野 涼司

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第1位 丸山 翔
- 第2位 丸山 翔
- 第3位 丸山 翔

- 第8位 奥村 春香
- 女子 3000M
- 第7位 奥村 春香
- 女子 4x100M

- 第1位 (二宮・早川・玉木・佐藤)
- 女子 4x400M

- 第6位 (大竹・山本・奥村・西山)
- 女子 7種競技

- 第1位 渡辺 夢菜
- 女子 走幅跳

- 第2位 二宮 千愛
- 女子 やり投

- 第3位 渡辺 夢菜
- 女子 100Mハードル

- 第5位 玉木 佳苗
- 女子 学校総合

- 第3位 渡辺 夢菜
- 女子 学校総合

- 第4位 渡辺 夢菜
- 女子 フィールド総合

- 第6位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック総合

- 男子 4x100M
- リレー 第3位 (高橋・中村俊・中村航・加藤)
- 男子 4x400M
- リレー 第1位 (関・中野・駒田・駒沢)

- 第2位 鈴木 智子
- 女子 100M

- 第5位 早川明日香
- 女子 200M

- 第7位 鈴木 智子
- 女子 800M

- 第7位 山本あゆみ
- 女子 走幅跳

- 第4位 二宮 千愛
- 女子 4x100M

- 第1位 (二宮・早川・玉木・鈴木)
- 女子 4x400M

- 第4位 (二宮・大竹・早川・山本)
- 女子 7種競技

- 第3位 渡辺 夢菜
- 女子 7種競技

- 第1位 (駒田・加藤・箕輪・中野)
- 男子 トラック

- 第3位
- 男子 総合

- 第200M
- 男子 総合

- 第1位 黒川 哲雄
- 男子 400M

- 第4位 加藤 雅俊
- 男子 800M

- 第1位 中野 涼司
- 男子 100M

- 第5位 箕輪 祐俊
- 男子 4x400M

- 第1位 (黒川・中野・駒田・加藤)
- 男子 4x100M

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

- リレー 第2位

〔高橋・中村(俊)・中村(航)・黒川)〕

・女子100M

第2位 鈴木 智子

・女子4×400M

第4位

・(二宮・大竹・鈴木・早川)

・女子4×100M

第2位

・(二宮・早川・玉木・鈴木)

・女子走幅跳

第5位 二宮 千愛

・女子7種競技

第6位 渡辺 夢菜

《第1回ゴールデンサマー

in新潟 6/26》

・女子100M

第2位 玉木 佳苗

・女子800M

第1位 山本あゆみ

・女子やり投げ

第3位 渡辺 夢菜

《新潟県陸上競技

選手権大会 7/22~24》

一般男子

・男子100M

第1位 黒川 哲雄

・男子200M

第5位 中村航太郎

一般女子

・女子7種競技

第1位 渡辺 夢菜

《全国高等学校

総合体育大会 8/2~6

千葉総合スポーツセンター》

・男子200M

第4位 黒川 哲雄

・男子800M

第4位 中野 涼司

《国民体育大会 新潟県予選会

8/20~21 上越市陸上競技場》

・少年A男子100M

第1位 黒川 哲雄

・少年A男子400M

第3位 加藤 雅俊

・少年A男子800M

第1位 中野 涼司

第2位 箕輪 祐俊

・少年B男子走幅跳

第1位 渡辺 正人

・少年A女子100M

第1位 鈴木 智子

《北陸地域陸上競技

選手権大会 8/27~28

富山県運動公園陸上競技場》

一般男子

・男子800M

第5位 箕輪 祐俊

・男子3000SC

第6位 丸山 翔

・男子200M

第7位 加藤 雅俊

一般女子

・女子7種競技

第4位 渡辺 夢菜

《秋季新潟・下越地区

陸上競技大会 9/9~10

胎内市総合グラウンド陸上競技場》

・男子100M

第3位 中村航太郎

・男子200M

第2位 加藤 雅俊

・男子400M

第1位 中野 涼司

第2位 加藤 雅俊

第3位 駒田 俊

・男子800M

第1位 中野 涼司

第2位 駒田 俊

・男子4×100M

第1位

〔樋口・中村(航)・加藤・渡辺〕

・男子4×400M

第1位

〔関・加藤・小野・駒田〕

・男子400MH

第2位 小野 祐平

第7位 水戸 将貴

・男子走幅跳

第5位 渡辺 正人

・女子100M

第2位 佐藤 佑香

第8位 児玉奈央美

・女子200M

第5位 西山 睦美

・女子400M

第2位 大竹恵里菜

・女子800M

第7位 中野 祐里

・女子7種競技

第1位 渡辺 夢菜

・女子4×400M

第2位

〔児玉・佐藤・大竹・西山〕

・女子やり投げ

第2位 渡辺 夢菜

◎弓道部

《県下弓道新発田大会 4/29

新発田市カルチャーセンター

男子個人

第9位 小林 淳

女子個人

第7位 李 美奈

《暑期新潟・下越地区弓道大会

5/2 新潟市鳥屋野体育館弓道場》

男子個人

第3位

・女子団体

第5位 青野 瞳

《護国神社春季奉納武道大会

5/5 護国神社境内仮設弓道場》

女子個人

第3位 矢部 綾加

第6位 石田 友江

第10位 阿部 夏希

◎剣道部

《平成17年度全国高等学校

剣道部優秀校選抜剣道大会

兼和歌山県教育長杯争奪剣道大会

5/2~5 和歌山県和歌山東高等学校

女子団体 優秀校授与

《新潟地区春季剣道大会

5/7~8 新潟明訓高等学校》

男子団体

第3位

女子個人

第1位 古井恵利香

第2位 阿部 純子

第3位 田中友香里

第3位 清水 里奈

女子団体

第1位

《第58回新潟県高等学校

総合体育大会剣道大会

6/3~5 聖籠町市民会館

男子団体

第3位

女子団体

優勝

女子個人

第3位 阿部 純子

女子個人

第3位 清水 里奈

ベスト8 関川 友香

《第43回北信越高校剣道大会

6/17~19 栃尾市総合体育館》

・女子個人

第3位 清水 里奈

・女子団体

優勝

・最優秀選手賞授与

古井恵利香

《第20回全国格闘旗争奪剣道大会

8/25~26 とどろきアリーナ》

男子団体

第3位

《全国高等学校総合体育大会》

女子団体

ベスト16

《北信越国体 8/27~28

庄川町民体育館》

予選

第2位 古井恵利香

第2位 田中友香里

第2位 清水 里奈

《新潟地区秋季剣道大会

9/10~11 新潟第一高校》

男子団体

第2位

男子個人

第3位 古寺 祐貴

ベスト8 八子 圭介

女子団体

優勝

女子個人

第1位 清水 里奈

第2位 関川 友香

◎卓球部

《春季地区卓球大会 5/6~7

新潟市鳥屋野総合体育館》

男子団体

第9位

個人

ベスト16 斎藤

ベスト32 松木

2回戦敗退 斎藤・松木

シングルス

2回戦敗退 松木

1回戦敗退 斎藤

◎バドミントン部

《新潟地区バドミントン大会

5/7~8 県立新潟西高等学校》

男子シングルス

2回戦敗退 安達 淳也

2回戦敗退 大坂 理人

《新潟地区バドミントン大会

5/7~8

県立西川竹園高等学校》

女子ダブルス

1回戦敗退 斎藤・汐見

1回戦敗退 神田・山崎

1回戦敗退 神田・山崎

女子シングルス

2回戦敗退 汐見 優華

1回戦敗退 伊藤かすみ

1回戦敗退 神田美紀子

1回戦敗退 山崎香菜絵

《新潟県大会女子

バドミントン競技大会

6/2~4 村上高等学校》

初戦敗退

《新潟支部バドミントン大会

7/23~24 新潟市体育館》

1年男子シングルス

2回戦進出 菅沼

初戦敗退 安達・篠宮

1年女子シングルス

ベスト16 汐見

初戦敗退 鈴木・小嶋

《高校1、2年生(B、C級)

バドミントン大会 8/21

新潟市北地区スポーツセンター》

男子C級シングルス

3回戦敗退 安達・篠宮

菅沼 2回戦敗退 川上 初戦敗退 笹川・加野・久保・樋口

《高校1、2年生(B、C級)》

バドミントン大会 8/21

新潟市東総合スポーツセンター

女子C級シングルス

優勝 汐見 優華

3回戦敗退 鈴木・小嶋

2回戦敗退 小黒・菅野

初戦敗退 坂井・近藤

◎野球部

《第112回北信越地区高等学校野球》

新潟地区予選 4/27~5/1

新潟市鳥屋野球場・小針球場

◎敬和学園13-3

◎新潟江南10-0

《第112回北信越地区高等学校野球》

新潟地区予選 5/11~15

五十公野球場・五泉球場

◎小千谷12-0

◎柏崎工業1-2

《第87回全国高等学校野球選手権新潟大会》

7/18

◎小千谷9-3

◎巻 3-2

◎羽茂 7-0

◎日本文理11-1

◎東京学館13-4

◎中越 7-6 優勝

《全国高等学校野球選手権大会》

8/9 甲子園球場

●宇部商業4-7

◎女子バレーボール部

《春季新潟地区バレーボール大会》

5/7 新潟第一高等学校

5/9 東京学館

第3位

《新潟地区大会 9/2》

第3位

◎テニス部

《全日本ジュニア選手権》

新潟県予選大会 5/7~8

塩沢町大原運動公園テニスコート

男子ダブルス

2回戦敗退 遠藤・阿彦

男子シングルス

1回戦敗退 遠藤 直也

女子ダブルス

1回戦敗退 田村・吉田

女子シングルス

1回戦敗退 小林 花衣

1回戦敗退 田村 菜月

《春季下越地区テニス大会》

5/9~10 新発田市サンスポ

1ツランドテニスコート・五十公野

公園テニスコート・中条町国際交流

公園テニスコート

男子ダブルス

ベスト16 遠藤・阿彦

ベスト16 栗原・本間

3回戦敗退 井本・谷内田

3回戦敗退 山賀・小鍛治

3回戦敗退 山内・猪俣

男子シングルス

ベスト8 遠藤 直也

ベスト16 阿彦 佑樹

ベスト16 桑原 直輝

ベスト16 本間 渉

ベスト16 谷内田辰則

《春季下越地区テニス大会》

5/9~10 県立新発田高校

テニスコート・中条町

国際交流公園テニスコート

女子ダブルス

ベスト8 小林・野本

ベスト8 田村・吉田

ベスト8 寒河江・吉原

ベスト8 高山・榎並

女子シングルス

優勝 小林 花衣

準優勝 田村 葉月

ベスト16 寒河江みなみ

5/28~30 塩沢町

大原運動公園テニスコート

十日町サンスポ1ツランド

テニスコート

男子団体 ベスト16

男子シングルス

3回戦敗退 遠藤 直也

2回戦敗退 桑原 直輝

2回戦敗退 阿彦 佑樹

本間 渉

谷内田辰則

女子団体 ベスト16

女子ダブルス

ベスト16 小林・野本

2回戦敗退 田村・吉田

1回戦敗退 寒河江・吉原

1回戦敗退 高山・榎並

女子シングルス

ベスト8 小林 花衣

2回戦敗退 寒河江みなみ

ベスト32 田村 菜月

《下越地区高等学校1年生大会》

7/16~17 五十公野公園

テニスコート・中条町

国際公園テニスコート

男子シングルス

優勝 武田

ベスト8 坂田・小川

田辺

男子ダブルス

優勝 坂田・漆山

第3位 五十嵐・小川

ベスト8 齋藤・田辺

《下越地区1、2年生大会》

8/4~5 五十公野公園

テニスコート・中条町

国際公園テニスコート

女子シングルス

優勝 田村 葉月

ベスト8 吉田裕可里

女子ダブルス

第3位 高山・榎並

《全国選抜高等学校テニス大会》

県一次予選 8/22~23

新潟市庭球場

男子団体 2回戦敗退

女子団体 ベスト8

《秋季下越地区テニス大会》

9/5~6 中条町

国際交流公園テニスコート

男子ダブルス

ベスト16 坂田・漆山

ベスト16 齋藤・田辺

《秋季下越地区テニス大会》

9/5~6 新発田市

五十公野公園テニスコート

男子ダブルス

ベスト16 小川・五十嵐

男子シングルス

ベスト32 五十嵐邦之

《春期新潟地区水泳大会》

◎水泳部

◎囲碁部

《第29回全国高校囲碁選手権》

新潟県予選 5/21~22

敬和学園高校

5/24 ウェルサンピア新潟

男子200Mバタフライ

第1位 加藤 悠一

男子100Mバタフライ

第3位 加藤 悠一

《新潟県総合体育大会水泳大会》

6/26 上越市民プール

男子100Mバタフライ

第8位 加藤 悠一

◎なぎなた部

《新潟県総合体育大会》

なぎなた競技 6/5

刈羽村 ラピカ

個人戦

予選リーグ敗退 岡本 華子

◎ハンドボール部

《第58回新潟県高等学校総合体育大会》

6/4~5 巻高等学校

第3位

《文化部》

◎書道部

《第21回成田山》

全国競書大会 4/2

推薦賞 田辺 梨恵

◎珠算部

《第59回新潟県》

珠算選手権大会 5/15

スクール部門 総合個人競技

3等 小池 進

◎吹奏楽部

《新潟県吹奏楽コンクール》

8/2 新潟テルサ

金賞

◎インターアクト部

《新潟県インターアクト》

優秀賞 佐藤 智大

優秀賞 渡辺 智美

◎放送部

《第52回NHK杯全国高校》

放送コンテスト新潟県予選

6/22 新潟市音楽文化会館

アナウンス部門

優勝 渡辺・千葉・斎藤

男子B 3位

個人戦 Cブロック

優勝 坂井 秀一

団体戦 女子 2位

◎写真部

《県高文連 写真専門部》

第9回撮影大会 5/26~28

佐渡市相川「相川やまさ」

競技部門

大賞 桜井里佳子

奨励賞 原 聡子

奨励賞 堀 詩織

奨励賞 阿部未加子

奨励賞 五十嵐智子



## 全国大会への道

剣道部(女子)

佐藤綾乃

私達が全国優勝に向け、本格的に始動し始めたのは選抜大会の予選に敗れ、全国への切符の一枚目を逃した後からだ。他よりも遅いスタートを切った私達に待っていた厳しさは言うまでもなく、勝つたり負けたりとチームはいつも不安定だった。気持ちだけが焦ってしまい、いつも空回りの連続で、県大会までの日々は全員が必死だった。また、四連覇がかかっているというところもあって、プレッシャーからも押し潰されそうになっていた。しかし、全員の努力は嘘をつかず、県大会は優勝することができ、全国優勝への道は途切れることなく、やっと中間地点まで辿り着くことができた。

毎日がギリギリの状態の中で、大きな目標に挑んだインターハイだったが、予選リーグは一言で言ってしまうと、今までの全試合の中で最も悪悪試合に等しかった。選手、応援全てが全国という文字に圧倒されてしまい、バラバラだった。それでも何とか予選リーグ突破を果たすことができた。

その後迎えた決勝トーナメント一回戦目。かねてからのライバルであり、去年のインターハイは準優勝校でもある強豪、中京高校との対戦だった。勝者数0-0、取得本数0-0。最後までどちらが勝つてもおかしくない息を飲むような試合だった。しかし、最後は代表戦で惜しくも負けてしまい、結果はベスト16で終わった。

全国優勝という大きな目標は果たせなかったが、高校最後のインターハイは、私達にたくさんのお話を教えてくれたと思う。そして、全員で一つになってやってきた多くの時間は、これからそれぞれが生きていく中で、大きな糧になるだろう。一度は落ちるところまで落ちた。しかし、最後まで落ちたものはあとはい上がってゆくしかない。全員が手や肩をかし、時にはハシゴになり、力を合わせて這い上がってきた結果が、全国の舞台へとつながったのだと思う。そして、私達が今まであきらめることなく頑張ってきたのは、先生方の懸命なご指導のおかげであり、また、家族の支えがあったからだと今思える。「全国優勝」という目標は難しいものであり、

目標よりむしろ夢といった方が合っていたのかもしれない。しかし、後輩達にはもっともっと大きな目標をもってほしい。私は、勝つことも大切だが、その目標に向かって、仲間と共に頑張り続けることに意味があると思う。必ず結果はついてくるだろう。そして、先生方や両親の存在を大切に、感謝という言葉をお忘れずにもってほしい。

私達三年生は引退し、これからそれぞれ別の進路へ進んでゆく。だけどインターハイやこの三年間で学んだ全てのことを胸に刻み、知り合った仲間とまた励まし合いながら、これから待っているであろう苦勞や困難に立ち向かいながら一歩一歩、歩いていきたいと思う。

放送部(男子)  
遠藤寛生

「全国高総文祭青森大会に参加して」

放送部は今年度の全国高等学校総合文化祭青森大会放送部門のアナウンス部門とビデオメッセージ部門に出場しました。

ビデオメッセージ部門では、「笑顔でマジック」という作品を出品しました。この作品は、明訓祭でもマジック

を見せてくれた佐藤智大君を取材したものです。佐藤君は、小さい頃からマジックを始め、今や世界大会でも入賞するほどです。しかし、今回取材を通して、その裏にある努力や、マジックへの思いを聞くことができてよかったです。残念ながら入賞はできませんでしたが、自分の中で満足いく作品になったと思います。

また、大会では、全国の高校生が作った作品を見ることで、近なものから社会的なものまであり、それぞれ良い刺激になりました。

自分は今引退してしまいましたが、一、二年生にはぜひ、来年の京都大会を目指して頑張ってもらいたいと思います。

最後になりましたが、協力してくださったみなさん、先生、本当にどうもありがとうございました。

## 囲碁部(男子)

## 千葉大輔

「囲碁というもの」

最近、と言う程の最近の話ではないが、囲碁ブームというものがきた。その元となったのが少年漫画だそう。漫画の持つ影響力の大きさは馬鹿にできない。そして、その

ブームのおかげで、子供の競技人口は飛躍的に増加。お年寄りの方々が大喜びしたかどうかは知らないが、囲碁関係者は狂喜乱舞したに違いない。大人の遊びだという認識も変化してきただろう。

実際、囲碁というものは面白い。木の碁盤に石を互いに並べていく。それだけのことである。でも、その盤上を世界に見立てる人もいれば、宇宙のような広がりを感じる人もいたりする。単純そうに見える、意外と奥深いものがある。中々わかるものではない。そんな奥深さがあるから、ずっと昔から今まで、親しまれてきたのだろう。と、僕は思う。

さて、随分と長い前フリでしたが、ここからは明訓囲碁部についてです。軽く我が部の紹介をしますと、一言でいうと自由な部活です。活動は基本的に週一回で、あとは部員同士で他の日にも練習がなければ自主練をする、という感じです。強くなりたい人は週何回でもするし、趣味程度で良いなら週一回やる、と自身の意識の持ち方次第にしています。本当に自由な部活で、勉強にも支障は全くないです。

端から見たら、ちゃんと練習してるのかよ?と思われる

しまいそうな囲碁部ですが、今年度は県大会で、男子団体が優勝することができました。全国大会進出という目標を達成することができて嬉しかったし、日頃は目立たない囲碁部の名が、正面玄関に垂れ幕で大きく書いてあって、努力が報われたと思えました。活動時間は短くても、集中して取り組めば、内容の濃い充実したものとなり、結果を出すことができます。これは、部活動だけでなく、日常生活、勉強にも言えることだと思います。

夏休み。3年生で夏期講習があるはずなのに新幹線に乗り東京へ。今年も全国大会は東京の日本棋院で開催されました。会場に到着して渡されたプログラムを見てみると、日本各地の有名進学校がズラリ。いきなり気持ちから負けそうになってしまいました。

団体戦は、まずは予選リーグを戦って、各ブロック1位が決勝リーグに進むという形式でした。新潟明訓は予選Aブロック。3回試合しましたが、全敗。全国大会って言うだけのことはあって、強い人がたくさんいました。囲碁に対する姿勢も並々ならぬ感じ、その場の雰囲気にも呑み込まれ、手も足も出ませんでした。敗けてしまったのは悔しいけれど、貴重な体験がで

野 球 部

六年ぶりに  
夏の甲子園出場!!

甲子園出場に際し

野球部部长 波間 一孝

きました。囲碁は歳をとって  
もできるものです。これから  
まだまだ先の長い人生、囲碁  
と共に歩むというのも悪くな  
いな、と思えました。

最後に一言。部員はいつで  
も募集しています。お気軽に、  
囲碁部の人々、または顧問の  
先生に、声をかけて下さい。

今夏の甲子園出場に際し、  
同窓会の皆様方には物心両面  
のご支援を賜り、本当に有り  
難うございました。大阪で温  
かく出迎えてくださった関西  
明訓会の方々ははじ  
め、ご声援いただいた  
皆様には、感謝の気持  
ちで一杯です。  
思い起こせば、昨秋  
の県大会を優勝で飾っ  
たものの、北信越大会  
では「あと一球」を乗  
り越えられず、選抜甲  
子園を逃しました。恒  
例となった新年の書き  
初めに、五十嵐主将が  
「勝利への執念」エー  
スの須貝君は「星稜戦」  
と書いてきました。臥  
薪嘗胆、厳しい冬季練



五十嵐大典主将を先頭に力強い入場行進

上がってこない中で、選手た  
ちには「秋季の覇者」などと  
いう奢りは微塵もなく、ただ  
ひたすら「まだまだこれから  
上手くなる」という監督の言  
葉を信じて、二ヶ月半を徹底  
的に練習し、チームワークを  
高めてきました。  
この夏の甲子園出場は、苦  
しんで苦しみ抜いたチーム  
が、努力の末に掴み取った栄  
冠だったので。  
平成十五年度より導入され  
た類型制度の三年目。Ⅲ類を  
構成する陸上部・剣道部の、  
インターハイそして世界ユ-

ス出場と共に甲子園に出場で  
きました。この運動部の活躍  
が、同窓の皆様の愛校心の高  
揚や、昨年の自然災害で被災  
された方々を元気づける一助  
になればと願っております。  
甲子園では一勝を挙げるこ  
とはできませんでしたが、こ  
れからも野球部の「部訓」を  
大切にしながら、甲子園で勝  
てるチームを目指して、頑張  
っていきたいと思っております。  
今後とも明訓同窓の皆様  
のご支援をよろしくお願い申  
し上げます。

『笑顔』……六つ目の部訓誕生

野球部監督 佐藤 和也

新校舎移転元年の年、類型  
制完成年度の年。  
その他の様々なけじめの年  
の甲子園出場、前年秋の北信  
越大会の準決勝星稜戦であと  
一球を制することができず春  
選抜甲子園を逃していたこと  
もあり、大きなプレッシャー  
と戦いながらの県大会となり  
ました。苦しい県大会を通じ  
て我々野球部が手に入れた財  
産は、この「笑顔」で戦うと  
いうことでした。笑顔でさわ  
やかに戦うことは一見、とて  
も楽で、簡単なことのように  
感じられますが、その過程に  
おいて血の滲むような努力と  
精進が必要でした。プラスの

思考で伸びくと戦う為にこ  
の「笑顔」がどれだけ選手に  
有用であったか……。計り知  
れない武器となりました。笑  
顔を手に入れるのに、前回ま  
での出場の折々で笑顔の大切  
さをお話いただいた理事長  
先生のお言葉や、野球部大先  
輩S氏の励まし、そして野球  
部員ではない明訓生が言っ  
てくれた笑顔の話、延長戦を戦  
った四回戦以降「笑顔」は  
我々の武器となっていたのだ  
でした。  
負けはしましたが、甲子園  
での戦いでも緊張することな  
く伸びくと全力で「笑顔」  
で戦えたことを、心から誇り

に思っております。  
今後とも同窓会会員の皆様  
のご期待に答えるべく努力を  
重ねて参ります。今後なお一  
層の御支援を心よりお願い申  
し上げます。

蓄積と挑戦

野球部コーチ 本間 健治郎

この度の甲子園出場に際  
し、同窓会の皆様には多大な  
ご支援、ご声援を頂き感謝  
申し上げます。  
長く、熱い決勝戦を終え、  
拍手と歓声に沸くスタンドか  
ら感涙にむせび、笑顔あふれ  
る選手達を見ていました。  
「やっと辿り着いた」と同時  
に「さあ、ここからスタート」  
という思いでした。小生も初  
出場の時に選手として甲子園  
を経験させて頂きましたが、  
当時を振り返れば「やっと辿  
り着いた」まででした。四回  
目の出場とは言っても選手自  
身は初出場。この気持ちの切  
り換えができるかどうか大き  
な分かれ目だと思っていまし  
た。

結果的に初戦敗退でした  
が、選手諸君は立派に四回目  
の出場校、新潟明訓高校野球  
部の選手でした。気後れする  
ことなく、全力を発揮して宇  
部商業との勝負に集中してい  
ました。  
終わることのない挑戦の

※新部訓  
笑顔：肩の力を抜き、心の  
こわばりをなくす、  
笑顔が似合う  
さわやかなチームで  
あれ

日々。その連続の中から言葉  
では言い表すことができない  
力が確実に蓄積され、受け継  
がれています。この甲子園で  
また、新たに「笑顔」という  
部訓が生まれましたが、まさ  
に言葉では言い表せない、明  
訓野球部の「笑顔」の選手達  
とともに甲子園で闘うべく挑  
戦は続きます。  
同窓会の皆様には重ねて御  
礼申し上げますとともに、な  
お一層のご支援、ご声援をよ  
ろしくお願い申し上げます。



声援を送る野球部応援団

# 甲子園球場と笑顔

野球部主将 五十嵐 大典

この夏、私たち明訓野球部は夢の舞台「甲子園」に立つことができました。しかし、甲子園出場を掴むまでの道程は決して楽なものではありませんでした。

今年の主力メンバーは昨年からレギュラーだった選手が多くいました。昨夏の敗北の悔しさをバネに春のセンバツを目指して臨んだ昨秋の北信越大会は、準決勝の星陵戦であと一步のところであつた甲子園を逃しました。あの一球を打てれば、あの一球が捕れれば、そんな負け方を夏、秋と経験しました。それからの冬の練習では、「あと一球」で勝つために練習に励みました。しかし、今春も一点差で柏崎工業に敗北、その後もチームがまとまらないまま夏を迎えようとしていました。私たちはこの状況を

抜け出すために様々なことをやってきました。校内掃除をより丁寧に、挨拶に心をこめる、三年生が率先してグラウンド整備を



粘りの、あきらめない打撃

するなど、野球以外の部分も見直しました。練習では、お互いに声をかけ合い、元氣のある練習にしようと思ひなで心懸けました。チームは少しずつ良い方向へ変わり始めました。

そして迎えた夏、苦しい試合が続きましたが、私たちが見出したものは「笑顔で明るく野球を楽しむ」ことでした。勝ち負けではなく、大好きな野球を笑顔で楽しむ。これが私たちの合言葉でした。決勝の中越戦は苦しい試合でしたが、私たちは笑顔をわすれませんでした。どんなに苦しくても笑顔。それを実践して、夢の甲子園を掴むことができました。笑顔でプレーすることは簡単なことのようにですが、そうではありません。一球の重みを知り、苦しさを乗

り越えたからこそできたことだと思ひます。そして県大会が終わった後、明訓野球部に新たな部訓が誕生しました。私たちがこの夏合言葉にしてきた「笑顔」です。新たな部訓誕生の瞬間に立ち会えたことを嬉しく、誇りに思ひました。そして新たな部訓「笑顔」を胸に甲子園に乗りこみました。甲子園は何もかもが新鮮で、大きな存在でした。試合は宇部商業に惜しくも敗れましたが、皆が持てる力を存分に発揮し、笑顔を決やさずチーム全員で戦うことができました。甲子園で野球ができたことは一生の宝です。

出場できたのはレギュラーの選手の手だけでありませんでした。ベンチでサポートしてくれた選手、「オレ達の分まで頑張ってくれ。」と背中を押してくれ、スタンドで声がかかるまで応援してくれた選手、いつも温かく指導して下さった監督、コーチ、部長先生、今井さん、明訓で野球がしたいというわがままを聞いてくれ、見守ってくれた両親や家族、野球部を応援してくれた明訓生のみなさん、応援していただいた全ての人々のおかげで掴みとったものです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

の2名が日本代表として出場しました。この世界ユース大会とは17歳以下の陸上競技の祭典であり、日本の年齢枠で考えると、高校生として主力で世界と戦える唯一の大会です。今大会も166カ国にもものぼる参加国があり、盛大に開催されました。

私自身もさまざまな方々の物心両面にわたるご支援をいただき、コーチとして今大会に参加する機会を与えていただきました。この紙面をお借りし関係各位に御礼申し上げます。

特に今までの常識が通用しないことを体験をし、改めて日本は様々な面で恵まれており、また世界で勝負するには環境に左右されない強靱な精神力と既成概念にとらわれない柔軟な発想こそが必要であると痛感しました。

## 陸上部

### 黒川君・中野君

### 日本代表として

### 世界ユース大会に出場

## 世界ユース陸上競技

### 選手権大会に出場して

陸上競技部監督 金子 峰 人

今年7月13日〜17日の5日間、モロッコで行われた第4回世界ユース大会に本校の2年生の黒川哲雄、中野涼司



左：黒川君 中：金子監督 右：中野君

中野涼司は800mに出場し、予選を組2着で通過をし、見事に準決勝に駒を進めました。準決勝は組7着ではありましたがこの大舞台で自身2番目のタイムで走ったことが評価されます。世界との差が大きいこの競技において、大健闘と

今大会に本校陸上競技部から、2名もの生徒が出場できたことは本人自身の努力はもちろんのことですが、周りの多くの方々のご支援のおかげであります。特に、中学校時

代に基礎を築いてくれました横土先生、早川先生をはじめとする多くの方々の思いが結実して、こうして「明訓から世界へ」が実現できたものと思います。また、陸上競技とは個人的要素が強いですが、思うような結果が出なくても腐らず、日々の地道な練習の苦しさを乗り越えた究極の楽しさを共有してくれる仲間がいたからこそ2人の世界への道ができたものと確信しております。重ねて関係各位に感謝申し上げます。

さて、世界ユース・千葉インターハイも終わり、陸上競技部としては来年の「大阪インターハイ」へ向けたスタートを切りました。今年のインターハイでは世界ユースコンビの黒川・中野の両名が共に

## 世界ユース大会を振り返って

黒川 哲雄

二百メートル予選。一着でゴール。「やってしまった。」そう思った時にはコーナー六十メートル辺りで、既に黄色旗が上がっていました。レーンの内側を踏んだとして失格。その瞬間、頭が真っ白になりました。一人ホテルの部屋に帰った時、なんでこんなに自分は弱い人だろう、情けないという思いが溢れてきました。

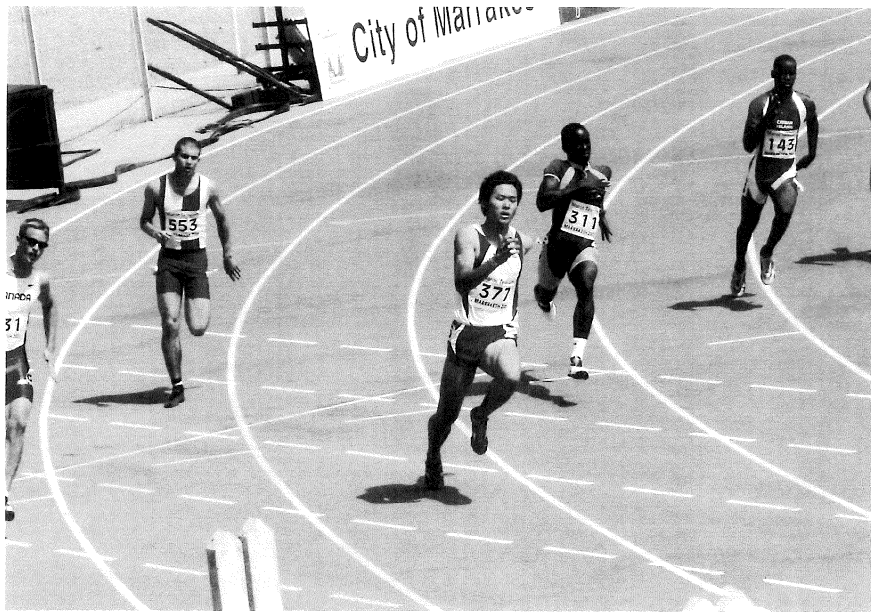
4位入賞という陸上競技部としては約30年振りのインターハイ入賞、しかも同一大会での2名もの全国入賞という偉業を達成してくれました。しかし、彼らにとっても陸上競技部にとってもまだ夢の途中です。来年の3年生で迎えるインターハイでのそれぞれの日本一。そして、新潟県勢の今まで成しえなかった「リレーでの全国制覇」を夢みて更に精進し、進化し続けて参りたいと思っております。

最後に二人が近い将来、再び胸に日の丸をつけて「世界の借りは世界で返す」ことができる日を期待し、終わりとさせていただきます。今後とも同窓会の皆様のお一層のご支援をお願い申し上げます。

今大会では本当にたくさんの方々が応援してくださいました。それがとても励みになり、日本で応援してくれている人達のことを思うと、力がわき、不安などはなくなりました。ですからレースには今までで最高の状態で臨めました。特にレース中は自分自身意識がないほどに集中できていました。しかし、その六十メートル地点、強い風が吹き

意識が戻った時には足を踏み入れていました。今なぜ踏んではしまったのか考えるとその競技場は日本の競技場に比べ、コーナーが緩やかだった点と、短距離の場合、走る前に一度スタートブロックを合

をレース前につかめなかったことが最大の誤算でした。しかし、どちらにしても選手みな同じ条件であり、自分自身のミスだと思えます。今大会ではたくさんのかっこを学び、また、この悔しさがこれから



黒川君の200m 予選の走り

わけ三十メートルほど走っても良いのですが、日本の大会に比べ、その時間がとても短かった点が挙げられます。ブロックを合わせるだけで終わってしまい、コーナーの感じ

の力になると思います。そしてこの借りは、もう一度世界の舞台に立ち、必ず返します。最後に、応援してください。みなさん、本当にありがとうございました。

## 世界ユース大会を振り返って

中野 涼司

今回、世界ユースに出場させてもらい、モロッコに行つて、試合をしてきたわけですが、正直、驚かされるような内容のものばかりでした。外国の選手と試合で一緒に走つてみると、日本では、考えられないようなペース配分で走つたり、どんなに自分がスピードを上げて平然とした顔で、自分より上のスピードで抜き去って行くのです。それでも僕は粘り強くついていき、予選はなんとか通過することが出来ました。しかし、

今回、僕の出場した八百mという種目は、最初から日本と世界とでは差のある種目だったので、ある程度結果は分かっていたことですが、現実を目の当たりにし、やはり悔しいものでした。ですが、この経験をバネにまた一から努力していきたいと思えます。そして出来れば、もう一度、世界の舞台で自分の納得のいく走りをし、世界のライバルにも自分自身にも勝ちたいと思っております。



壮行会



終身会費納入者御芳名

平成十七年八月三十一日現在

(敬称略)

昭和三十一年卒  
全日制7回

2組(1名)  
永井 勇雄

昭和四十年卒  
全日制16回

3組(1名)  
澤 芳男

昭和四十四年卒  
全日制20回

3組(1名)  
清水 信子

平成十六年卒  
全日制55回

2組(3名)  
伊丹 浩之  
井端 由衣  
刀根 勇介

3組(1名)  
風間 慧史

4組(1名)  
阿部 将弘

5組(4名)  
島田 達也  
白木 てまり  
高橋 健太  
渡辺 拓彌

6組(1名)  
鈴木 里枝子

7組(2名)  
市川 耕太郎

8組(1名)  
桑野 真理子

9組(2名)  
山崎 俊一

丸谷 未来

10組(1名)  
鈴木 浩太

平成十七年卒  
全日制56回

1組(40名)  
旭 祐太

阿部 千愛

五十嵐 愛

猪股 咲子

字佐美 なゆた

梅川 裕基

大澤 朋代

斎藤 佳奈

斎藤 淳樹

佐藤 直樹

佐藤 勇介

澁谷 侑香里

相馬 和哉

高橋 翔

田中 寛崇

玉川 友也

中川 麻美

中林 蘭子

西方 里恵子

西潟 聡

長谷川 春樹

原 璃菜子

平田 直也

藤元 康介

星野 彩

本間 英樹

丸山 雅人

宮崎 靖子

柳本 あや

谷内田 沙織

山際 将太

渡邊 みゆき

2組(42名)

相澤 達彦

朝妻 佑介

阿部 響子

大野 葉子

川 鱈めぐみ

栗林 紗美

桑原 淳

古閑 悠

小林 道一

斎藤 翔悟

磯辺 郁未

井上 典子

今井 彩子

上田 知恵

上野 剛太郎

高野 未妃

高木 ちえこ

高野 未妃

築山 雄太

寺田 健作

長井 麻由美

長川 修平

中嶋 拓瞬

中嶋 拓瞬

長崎 友理子

宮崎 靖子

柳本 あや

谷内田 沙織

山際 将太

渡邊 みゆき

3組(39名)

阿部 健介

荒井 彩繪

五十嵐 美帆

田代 香樹

山崎 摩耶

森田 教乃

宮田 大介

三村 貴紀

松澤 麻美

堀澤 雄壯

保科 貴司

田卷 美紗子

高橋 則子

田邊 祐太

塚野 志穂

海野 かなな

田中 皓彬

中村 小雪

野口 俊介

野口 真祐子

長谷川 祐二

原田 恵莉子

星 晴華

三ヶ本 春光

宮本 春香

高橋 悠香

高橋 希枝

清田 達史

鈴木 勇太

鈴木 博之

柴野 孝史

佐藤 優乃

佐藤 聡介

佐久間 裕

近藤 建佑

小林 泰子

幸田 隆之祐

監物 雄祐

石井 里李

梅沢 彩花

遠藤 史織

大岩 宏平

風見 崇広

神田 崇潤

菊池 梨沙

小林 ちひろ

近藤 悠治

斎藤 悠里

岡田 卓也

小川 政晴

小川 洋平

風間 美也

加藤 真央

川崎 祥臣

北崎 朗勉

草間 香里

小林 香里

近藤 栄誠

坂井 健理

佐久間 洋平

笹川 透

佐藤 若菜

清水 正法

7組(42名)

伊藤 志織

伊藤 崇史

稲田 友紀

榎本 優也

岡田 卓也

小川 政晴

小川 洋平

風間 美也

加藤 真央

川崎 祥臣

北崎 朗勉

草間 香里

小林 香里

近藤 栄誠

渡邊 多貴江

野崎 勇也

庭山 雅幸

西脇 広学

中野 広学

富田 美里

茅原 健悟

瀧澤 未央

鈴木 由衣

清木 正法

清水 正法

佐藤 若菜

笹川 透

佐藤 若菜

波多野 巨貴

田口真也 高橋さやか 高野妙子 杉山小百合 島田真梨子 塩田洋 笹川綾子 坂井綾子 齋藤佑司 小湊啓友 五味詠莉子 小林麻由 小坂井慎也 上村友美子 勝見達也 小川祐平 岡小百合 遠藤祐介 池野陽子 五十嵐奈央 阿部亮平 青木武 8組(39名) 渡邊佳奈子 山本はるか 山岸由香 矢部龍 宮本哲矢 宮尾矢 松井洸 比企健郎 林将太郎

小林千夏 小井沙妃 具野実紀 清野麻美 神田奈未 金子陽子 小野陽子 大野育枝 大嶋友美 江口綾 芋川祐紀 石津秀貴 五十嵐裕一 五十嵐千佳 安達香織里 藍澤祥子 小川祐平 吉田哲也 吉田彬 矢部亮 森大輔 宮下桃子 藤井浩士 福田圭佑 福田岳人 平出朋哉 馬場秀章 橋本優 繩田一貴 富山慶祐 富澤祐太 田中元氣 竹田太

北島亮介 加藤寛樹 乙川和彦 大塚真史 今村利明 今岡亮介 伊藤亮一 新井考規 青柳克宏 相田宏美 10組(40名) 渡辺真行 山本厚 山田恵理 山崎道穂 宮脇麗奈 宮本しづさ 星野純輝 廣川雄介 廣井真 羽山紗織 波多野和代 新田真緒 名越祥太 中山繪梨奈 坪野晶子 武田智徳 高橋早紀 佐藤友紀 笹川未來 近藤将之 古侯翔太 小林祐太

阿部茉莉花 綱島知子 土屋聡 5組(2名) 渡辺真理子 鈴木高志 小柳憲之 4組(3名) 神田大介 小田ちひろ 3組(2名) 山岡百合恵 村山拓郎 布施敦史 古侯由朗 1組(4名) 平成十七年卒 全日制56回 御芳名(敬称略) 椎谷真 佐藤悖 櫻井友里子 坂下賢 齋藤俊 齋藤啓輔 河野茜 熊倉和輝 鈴木勝博 曾根幹人 高橋克也 高澤悠亮 瀧卷由美 鶴田憲助 戸田卓也 豊嶋祥典 中野祥典 水野奈々 齋藤寛朗 齋藤理絵 三浦恵 9組(1名) 三浦恵 10組(1名) 馬場聡美

阿部茉莉花 綱島知子 土屋聡 5組(2名) 渡辺真理子 鈴木高志 小柳憲之 4組(3名) 神田大介 小田ちひろ 3組(2名) 山岡百合恵 村山拓郎 布施敦史 古侯由朗 1組(4名) 平成十七年卒 全日制56回 御芳名(敬称略) 椎谷真 佐藤悖 櫻井友里子 坂下賢 齋藤俊 齋藤啓輔 河野茜 熊倉和輝 鈴木勝博 曾根幹人 高橋克也 高澤悠亮 瀧卷由美 鶴田憲助 戸田卓也 豊嶋祥典 中野祥典 水野奈々 齋藤寛朗 齋藤理絵 三浦恵 9組(1名) 三浦恵 10組(1名) 馬場聡美

平成十六年度 会費納入状況

◎終身会費  
 全日制7回生 1名 五、〇〇〇円  
 全日制16回生 1名 五、〇〇〇円  
 全日制20回生 1名 五、〇〇〇円  
 全日制55回生 16名 八〇、〇〇〇円  
 全日制56回生 398名 一、九九〇、〇〇〇円

会務報告

一、会議  
 (一)総会  
 平成16・10・22(金) 18:30 於 ホテルイタリア軒  
 平成17・6・27(月) 18:30 於 ホテルイタリア軒  
 (二)常任委員会  
 平成17年度同窓会総会に向けて協議  
 平成17・7・30(土) 18:30 於 ホテルイタリア軒  
 母校野球部甲子園出場支援について

三ツ間祐介 村上侑希 三富佳恵 村山良明 三鍋洋樹 渡邊淑実  
 平成17・9・21(水) 18:30 於 ホテルイタリア軒  
 平成17年度同窓会総会に向けて協議  
 (三)正副会長会議  
 平成16・10・7(木) 17:00 於 学校理事長室  
 同窓会総会運営について協議  
 平成16・11・19(金) 17:00 於 学校理事長室  
 同窓会総会についての反省会  
 平成16・12・18(土) 18:30 於 割烹 網元  
 同窓会の今後の運営について  
 平成17・2・22(火) 18:00 於 新潟東急イン  
 同窓会歓迎会及び卒業式について協議  
 平成17・6・3(金) 17:30 於 学校理事長室  
 常任委員会開催について協議  
 平成17・8・29(月) 18:00 於 割烹 網元  
 協議  
 二、その他  
 平成16・11・20(土) 13:00 於 銀座日航ホテル  
 首都圏新潟明訓会総会・懇親会が開催され、渡辺会長 児嶋・山崎副会長の3名出席  
 平成17・2・22(火) 18:30 於 新潟東急イン  
 学校の同窓会担当教職員との懇談会  
 平成17・6・20(月) 18:00 於 新潟会館  
 常任委員改革小委員会開催 6名出席